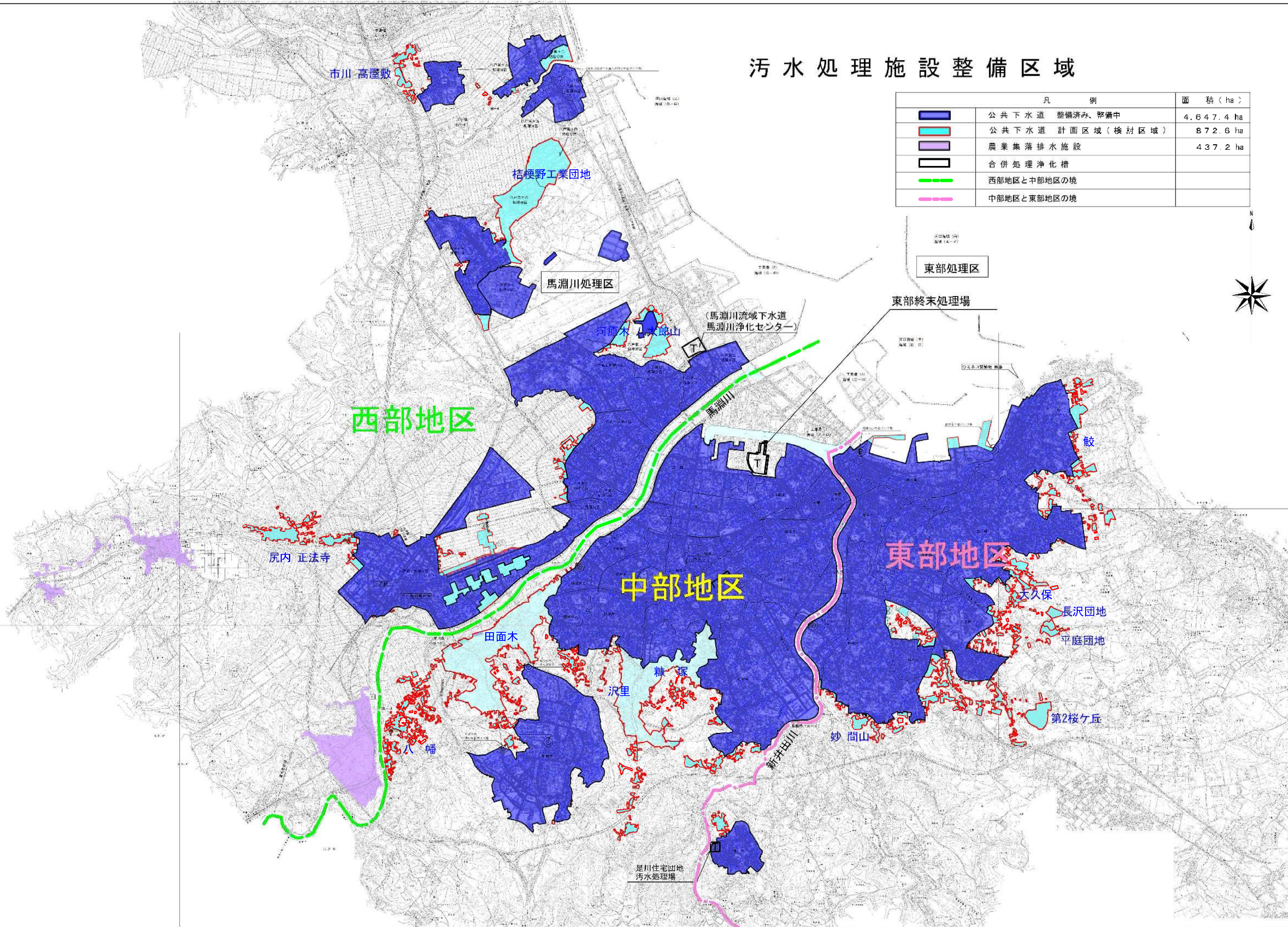


## 第2回委員会の質問に対する回答について

番号	質問事項	回答など	備考
No.10	・田面木、沢里・糠塚地区の令和17年度の人口が3,600, 3,800と4,000人に満たない。今は、何人くらい住んでいますか。	・令和元年度末では、田面木地区が4,081人、沢里・糠塚地区が4,431人です。	参考資料 ・検討区域 汚水処理施設 利用状況 人口  会議録 P16
No.21	・人口や汚水処理施設の利用状況等の資料も見て次回に議論をしていきたいので、事務局には資料の準備をお願いします。	・(参考資料参照)	参考資料 ・検討区域 汚水処理施設 利用状況 人口  会議録 P26～27

# 汚水処理施設整備区域

凡 例		面積 (ha)
	公共下水道 整備済み、整備中	4,647.4 ha
	公共下水道 計画区域 (検討区域)	872.6 ha
	農業集落排水施設	437.2 ha
	合併処理浄化槽	
	西部地区と中部地区の境	
	中部地区と東部地区の境	



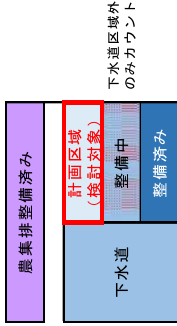
# 汚水処理施設整備状況

(令和2年3月31日現在)

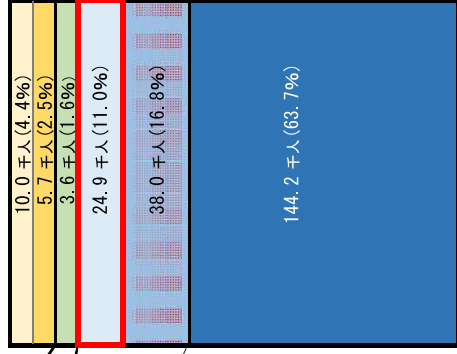
汚水処理人口普及率  
令和17年度目標 91.2%

下水道普及率  
令和17年度目標 86.2%

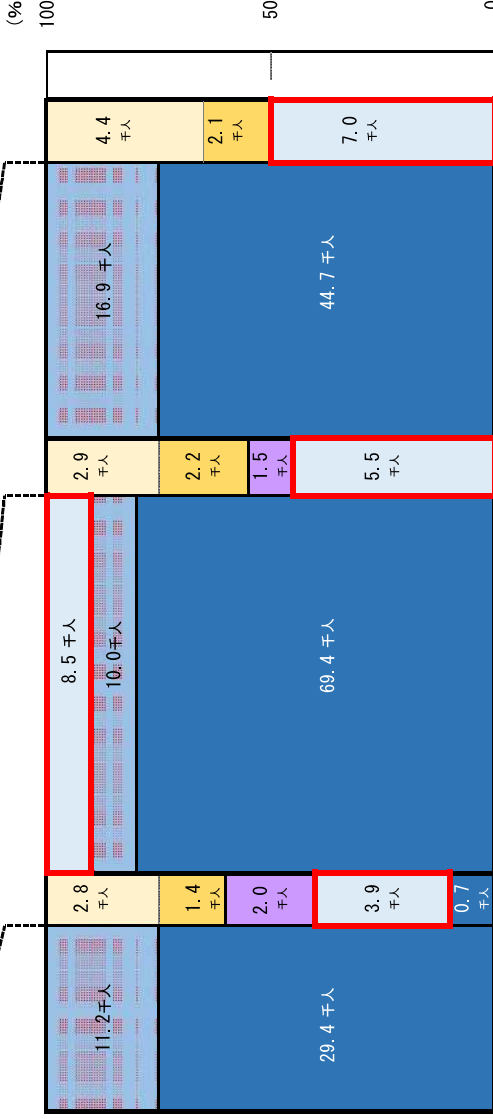
下水道普及率  
令和2年3月末現在 63.7%  
市街化区域 75.6%



八戸市 226.5千人	
市街化区域 190.1千人 (84%)	調整区域 36.4千人 (16%)



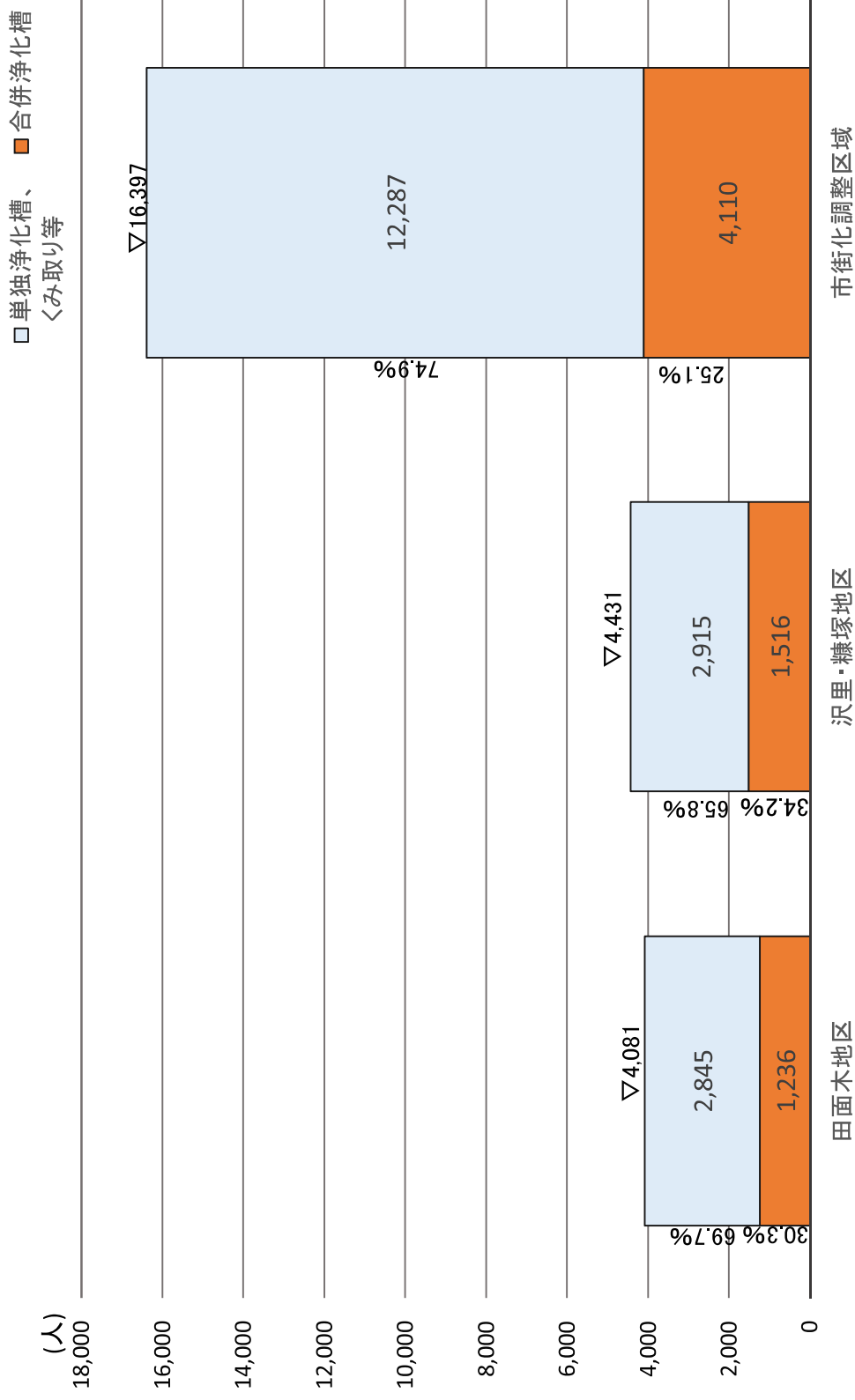
流域関連(馬淵川処理区)		単独公共(東部処理区)	
西部地区 51.4千人	中部地区 100.0千人	市街化区域 61.6千人 (82%)	調整区域 13.5千人 (18%)
市街化区域 40.6千人 (79%)	市街化区域 87.9千人 (88%)	調整区域 12.1千人 (12%)	



地域全体	①	226,541
市街化区域内	②	190,136
調整区域内	③	36,405
下水道	④	144,214
整備済み(処理人口)	⑤	38,061
整備中(事業計画残)	⑥	24,909
整備済み(検討対象)	⑦	19,363
予定なし	⑧/①	63.7%
普及率%		
農集	⑧	3,509
利用人口		
浄化槽	⑨	31,168
設置済み	⑩	13,726
未設置		
農集・浄化槽普及率%	Σ⑨/⑩	15.3%
単独・汲み取り等	⑪	69,109
整備済み	⑫	3,602.4
整備中(事業計画残)	⑬	1,045.0
下水道	⑭	872.6
整備済み(拡張)	⑮	
面積	⑯/計画	65.3%

51,455	99,977	75,109
40,614	87,907	61,604
11	12,070	13,505
10,830		
29,440	69,418	44,700
11,174	9,983	16,904
3,924	8,512	5,483
6,261		6,587
58.5%	69.4%	59.5%
豊崎	市野沢・島守	
一日市		
2,026	1,483	
5,533	7,212	8,622
2,363	3,397	4,041
2,834	6,512	4,380
8.5%	4.9%	5.4%
8,200	18,477	19,326
862.8	1,669.2	1,015.4
386.2	240.0	418.8
93.5	258.3	12.8
114.0		155.5
56.1%	73.2%	63.4%

# 検討区域汚水処理施設利用状況人口



## 八戸市公共下水道基本構想素案に対する意見等

黒文字: 委員会当日の回答

赤文字: 補足事項等

番号	質問事項	回答など	備考
No.1	・今回検討の田面木、沢里・糠塚地区について、15年で整備は可能でしょうか。	・田面木、沢里・糠塚地区と整備事業計画に載っている地域に関しては、今後10年間で整備が可能と考えている。	会議録 P11
No.2	・表のとおり、着手が令和4年度で、そこから10年ぐらいで整備が完了見込みですか。	・10年で田面木地区等の整備を計画しているが、私道等があるので、17年度で100%と考えている。10年間は概成させたいと考えている年数となります。	会議録 P11
No.3	・市設置型の合併処理浄化槽の制度を行っている自治体はありますか。	・青森県内だと十和田市と大鰐町が実施しています。	会議録 P12
No.4	・10年間で整備できるという予算等の前提を教えてください。	・新設整備費33億円のうち、汚水以外の整備を調整して、今後10年間は年29億円投資できると考え、10年を算出している。	会議録 P13
No.5	・田面木では管きょが33kmを年29億円かければ10年間でやれるという事ですか。	・地区ごとの手のつけ方を工夫して、10年程度あれば整備できると考えている。	会議録 P13
No.6	・経済状況等の変化もあり得るので、10年より伸びることも考えておかなければならないのでは。	・国からの交付金額の増減の可能性もあるが、年平均29億円程度かけて、達成に近づきたい。	会議録 P13～14
No.7	・個人設置型の浄化槽の設置数の実績は。	・平成28年度が29基、平成29年度が32基、平成30年度が31基、令和元年度が30基、近年30基前後で推移しています。	会議録 P14

## 八戸市公共下水道基本構想素案に対する意見等

黒文字: 委員会当日の回答

赤文字: 補足事項等

番号	質問事項	回答など	備考
No.8	・田面木、沢里・糠塚地区を合わせると事業費は100億円ですが、年29億円との整合性は。	・年29億円は既に事業を進めている地区も合わせた市全体の整備費となっています。	会議録 P15
No.9	・そっちに2倍かかって、全体で300億円ですか。	・道路幅や交通規制等も考慮して整備量を想定し年29億円投資し10年程度と算出しています。	会議録 P15
No.10	・田面木、沢里・糠塚地区の令和17年度の人口が3,600, 3,800と4,000人に満たない。今は、何人くらい住んでいますか。	・(当日は回答していない) ・令和元年度末では、田面木地区が4,081人、沢里・糠塚地区が4,431人です。	会議録 P16
No.11	・少子化や世帯当たり人数が2人を割っている状態では污水处理の設置が無理な人もいますか。	・施設の維持費や使用料が負担となるとのご指摘ですが、環境に与える負荷等も考え污水处理施設の整備を考えている。	会議録 P16～17
No.12	・新規整備も必要だが、古い施設の管理も大事では。	・新設と同様、老朽化対策のためのメンテナンス費用も大事と考えている。そのため、ストックマネジメント計画を策定し負担のかからない方策を考えていきたい。	会議録 P17～18
No.13	(No.11, No.12に対する意見)	・市街化区域は市が社会インフラを整備する必要があるため、下水道の計画を小さくしなければならぬならば、市街化区域である田面木等の地区は整備するという事を理解しました。	会議録 P18～19
No.14	(No.11, No.12に対する意見)	・将来を考えれば市街化区域は整備していくべきだと思います。	会議録 P19

## 八戸市公共下水道基本構想素案に対する意見等

黒文字:委員会当日の回答  
赤文字:補足事項等

番号	質問事項	回答など	備考
No.15	・7ページの経済性の評価では整備費に維持費も併せた大枠でとらえることはできないでしょうか。	・10年で概成をめどに整備を考えていること、調整区域の整備により維持管理費の増大も考えられることがネックである。	会議録 P20～21
No.16	・田面木地区は国道や高専、日赤病院等があるので下水道整備を強力に進めていただきたいと思っている。	・(意見のため、回答なし)	会議録 P21～22
No.17	市街化調整区域の令和17年度の人口が1万人いないのですね。	・令和17年度人口を想定した人口で今回の検討区域の市街化調整区域の人口です。	会議録 P22
No.18	・合併浄化槽の整備費に現在、すでに整備済みは考慮されていますか。	・今回の比較では、地区全体の全世帯を対象に整備費用を算出しています。 ・今回の整備には施設の更新費用も考慮したものとなっているため、整備済みを控除せずに全世帯数で算出しています。	会議録 P22～23
No.19	・市内全域で地区ごとの人数や汚水処理の状況がわかれば、さらに議論が深まるかなと思います。	・(要望のため、回答なし)	会議録 P24
No.20	・史跡根城の遺跡にかかる区域が入っているようですが、大丈夫でしょうか。	・その地区については、まだ結論を出せていないので、今回は入れています。	会議録 P25～26
No.21	・(No.19について)将来推計の人口等の資料も見て次回に議論をしていきたいので、事務局には資料の準備をお願いします。	・(指示のため、回答なし)	会議録 P26～27